医療法人惇慧会

外旭川病院だより

第14号
2024年1月

理　念

人間を大切にする企業風土をつくり
人間を幸せにする企業を目指します

指　針

1．何事にも積極的に挑戦します
2．創造力を働かせ、新しい価値を創っていきます
3．地域と共に生き、地域に貢献できることを喜びとします

基本方針

1．医療人としての自覚を持ち患者さんの命と尊厳を守ります
2．患者さんの人権とプライバシーを最大限に尊重します
3．地域社会の一員として地域の医療・福祉の充実に努めます
4．思いやりのある医療と快適な療養環境を目指します
5．自己研鑽に努め質の高い医療を提供します

新年のごあいさつ

ウイズユーグループ　代　表
医療法人惇慧会　　理事長　穂積　恒



令和５年度は猛威を振るったコロナがようやく落ち着きだし、５月８日には２類から５類へ変更され、県境を越えた移動や大人数での飲食の解禁、そしてマスクの着用も個人の判断に委ねられることになりました。それに伴い、病院では面会も徐々に解禁され入院患者さんの笑顔も戻り、とてもうれしく思っています。

今年度は療養病棟では、医療区分３の重症の患者さん、特に人工呼吸器を装着した患者さんが増えてきました。前年度は平均40名程でしたが、今では50名を超えるようになり今まで以上に慎重な対応が求められるようになってきています。これからも医療事故の無いように細心の注意を払いながら治療に当たっていかなければと心を引き締めています。緩和ケア病棟では、昨年度コロナの発生で一時病棟閉鎖をする事態が発生しましたが、今年度はそのようなこともなく病床利用率も上昇しています。

またサテライトクリニックでは一昨年10月にオープンした整形外科をはじめ全ての科で順調に受診者数が増えており、複数の診療科目を持つ利点が患者さんに理解されるようになってきたと感じています。

最近はロシア・ウクライナ戦争、イスラエルとハマスの戦闘あるいは円安による諸物価の高騰に国民は酷く悩まされておりますが、当医療法人では２年連続で3%のベースアップを実行し職員の生活を守るために一生懸命に経営努力を行っております。来年度も国の賃上げ減税を活用し更なるベースアップを目指し、また定年延長の動きに合わせて６月には定年を60歳から62歳まで延長する予定でおります。

これからも患者さんに快適な療養環境を提供しながら職員の待遇改善を図り、より良い医療を提供できるように尽力していきたいと考えておりますので皆様のご理解ご協力をお願いいたします。



「がんの痛み と 医療用麻薬」

外旭川病院 ホスピス長　松尾 直樹

がんの患者さんの７割で痛みを生じるといわれています。しかし、ほとんどの痛みは医療用麻薬を中心とした痛み止めで取り除くことができます。痛みは我慢せずに緩和していったほうが体への負担が少なくてすみます。痛みを我慢していると、夜眠れなくなるために昼間にだるくなったり、体を動かすのが億劫になったり、食欲が落ちたりして、体力もおとろえてきます。痛みを「我慢しないこと」は日常生活を快適に過ごすために欠かせないことです。

モルヒネなどの医療用麻薬には多くの誤解があるようです。医療用麻薬はホスピスだけが使っている特別な痛み止めではありません。多くのがん患者さんは医療用麻薬を上手に使いながら過ごしています。医療用麻薬は「最後に使う薬」と思われがちです。最初から強い薬を使うと後で痛くなった時に効かなくなるのではと心配されるかと思いますが、そのようなことはありません。逆に、ぎりぎりまで我慢してから、薬を使う場合、最初から薬を多く使うわけにはいきませんので、なかなか痛みがとれないことがあります。まだ痛みが軽いうちから、医療用麻薬を徐々に使っていくことが大事です。実際に長い間、医療用麻薬を使いながら外来通院している患者さんもいます。

医療用麻薬には胃が荒れるという副作用はありません。そのため、食事とは関係なく、空腹時に内服することができます。軽い痛み止めと考えられている消炎鎮痛薬の方が、胃潰瘍や腎障害などの副作用があり注意が必要です。医療用麻薬の良いところは、少ない量から始めて、徐々に増やしていけば、命にかかわる副作用がないところです。

以上のような痛みや医療用麻薬についての正しい知識を持って、我慢せずに痛みの治療していくことが痛みとうまく付き合っていくコツになります。

部署紹介 | 検査科

正しい検査を報告するために

診療技術部検査科
主任　深浦 洋子

現在検査科では２名の臨床検査技師が、医師から依頼された検査を実施しています。検査は血液、尿、便、痰、穿刺液（せんしえき）、組織など患者さんから採取した検体、心電図など直接患者さんを検査する場合と、多岐にわたって検査を実施しています。提出された検体は検査に適している？提出された検体の処理方法は？機器の状態は大丈夫？測定結果は信頼できる？この結果は医師に報告か必要？機械化が進んでいるとはいえ、臨床検査技師として判断しなければいけないことは今も昔も変わってはいません。

今年度検査科では、ある病棟の採血業務に関わらせていただきました。「検査の始まりは採血である」と言われます。採血手技や採血管の取り扱いが正確でなければ、正確な検査結果の報告はできません。採血業務に関わったことで、検査科としてやらなければいけないこと、病棟との連携の大切さを改めて実感しました。わずか２名と微力ですが、今後も正しい検査結果を出すための取り組みを模索していきたいと思います。

新しいスタッフ紹介

臨床検査技師　佐藤 詩織

以前の職場では生理機能検査を担当しており、心電図やエコーなどに多く携わってきました。検体業務に携わることが少なかったため、検査機器の精度管理や検査結果の臨床的意義などに関する知識など、日々勉強の毎日を送っています。まだ不慣れな点が多くご迷惑をお掛けすることもありますが幅広い知識を得てスキルアップしていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



事務部の紹介

当院の事務部は総務、庶務、医事、会計、相談室、営繕のほか、売店と理容で構成されており、幅広いシーンでの業務を担当しております。

総　務	病院運営や医療機器および物品管理	相談員	患者さんからの相談や入退院支援業務
庶　務	労務管理や様々な事務処理に関わる業務	営　繕	施設設備や備品の管理・保全
医　事	診療費の請求を行う医療事務全般	売　店	院内売店の仕入れ・販売業務
会　計	診療費の収納や業者への支払い	理　容	院内および関連施設での理容

それぞれが多種多様な業務に取り組んでおりますが、事務部内でも情報を共有し連携を密にしながら業務を行っています。また、私たち事務職員は医療専門職が十分に能力を発揮できるよう、患者さんと職員、そして職員同士を繋ぐ懸け橋となれるよう、縁の下の力持ちとして病院運営を支えています。

今後も患者さんへ安全・安心な医療・福祉を提供できるよう、病院を支えられる事務部を目指していきます。

便利な売店
喜んでほしい

売店



小野寺 直美

売店に勤務して３年になります。コロナが流行し始めた入社時より、徐々に院内の行き来も緩和され、患者さんに触れ合う機会も多くなりました。売店を多く利用される方では、週に２、３度足を運んでいただいております。

ご家族が遠方に住まわれている患者さんは、入院生活で必要な物を準備されるのはなかなか難しいと思いますが、売店で常備している食品や雑貨以外の商品のご要望があれば、注文を受け付ける対応も取っています。今後も、患者さんやご家族さん、そして職員が便利に利用でき、喜んでいただけるような「売り場づくり」に努めてまりいます。

ご縁に感謝
父にも届けたい

理容室



岡部 護

理容室を担当している岡部です。2015 年に入職し今年で 9 年目になります。私の父は直腸癌で 46 歳という若さで亡くなりました。私が理容師の見習いを始めてまだ 2 カ月目のことでした。死後、父の部屋から遺書が見つかり「父さんの髪もおまえに切ってもらいたかった」と書いてありました。そう、私は父の髪を 1 度も切ってあげることができませんでした。

あれから 20 年…

導かれるように外旭川病院に入職しました。きっと父に果たせなかったことを緩和ケアのあるこの病院でやりなさいということなのかなと思っております。こうしたご縁に感謝しながらこれからも業務に取り組んでいきたいと思います。

新入職員あいさつ

看護部
看護師
今井さん



昨年４月に入職しました。これまでは急性期病院や介護施設で働いてきました。現在は３病棟にて毎日患者さんの観察や体調の管理をさせていただいています。仕事では、分からない所や未熟な部分もあり、落ち込んだり不安に思うこともありますが、先輩方の手助けやアドバイスをいただきながら毎日を過ごしています。これまでの経験も活かしながら、看護師として成長できるよう取り組んでいきたいと思います。

看護部
介護福祉士
奥田さん



介護の経験はありましたが、入職当初は、今までやってこなかった業務もあり不安に思うことが多くありました。その都度、先輩方に教えてもらい、少しずつできることも増えてきました。まだまだ至らない点ばかりですが、患者さんが安心して療養できるよう努めていきたいと思います。

～ 夜は眠れていますか？ 食事はとれていますか？～

帯状疱疹について

たいじょうほうしん

副院長　小谷野　博正

帯状疱疹は、神経節に潜んでいた水痘帯状疱疹ウイルスが再活性化し、その神経領域に一致した部位で水疱などの皮疹を生じ、多くの場合、疼痛も生じる疾患です。

多くの人は、水痘に罹患した時に、ウイルスが神経節にも達し、神経節にウイルスを持ち続けています。それが、ストレス、免疫力低下などを契機にウイルスが再増殖し、発症します。

多くの帯状疱疹の症状は皮膚症状＋神経症状（主に痛みですが、かゆみのこともあります）です。神経痛は程度が様々ですが、まず、聞いているのが、題名にした、～夜は眠れていますか？食事はとれていますか？～、です。痛みが強いと、痛みで夜眠れない、起きてしまう、さらに深刻だと、痛みで食事がとれていない、ということがあります。

治療は、抗ウイルス薬＋鎮痛薬（＋外用）になります。抗ウイルス薬は１週間行い、それでウイルスはほとんどの場合、抑えることができます。神経症状、神経痛は、長引くことが多くあります。一般には数か月かけて、鎮痛薬を飲みつつ、痛みが落ち着き、治療終了となっていく経過をとります。

帯状疱疹には予防するワクチンがあります。発症予防効果、神経痛発症率の軽減に効果があります。（５０歳以上対象。外旭川サテライトクリニックでも行っています。）帯状疱疹神経痛は、頑固で悩まされることが多く、ワクチンも検討に値するものかと思われます。

NEWS & TOPICS

防火避難訓練を実施しました

外旭川病院事務部
事務課長　熊谷 充孝



今年度２回目の防火避難訓練を実施しました。病院では、１年に２回防火避難訓練が義務付けられています。あってはならないことですが、もしも病院で火災が起こったらその場にいるスタッフは素早い初期消火、初期対応が求められます。どのように避難させ患者さんの安全を確保するか、また、消防設備についての知識や消火器の使い方などスタッフが知っておかなければいけないことはたくさんあります。スタッフには、勤務年数の長いベテランもいれば、まだ入ったばかりのスタッフもいます。みんなが同じ動きをできるようにするためにはどうしても訓練が必要です。

当日は、消火器の実演練習を実施しました。立会いしていただいた消防設備業者から使い方の説明と消火器の性能を教えていただき、初期消火の大切さを学びました。長く勤務しているスタッフにしてみれば何度も聞いたことのある話ではありますが、いざ火災報知器が鳴るとパニックになってしまい機械の操作方法がわからなくなることも考えられます。防火避難訓練のタイミングで、あらためて設備の機能や取り扱い方法を再確認するのは大切なことです。こうした訓練を何度も行う中で、いざという時の病院の「安全と安心」を守ることができるよう訓練を実施していきたいと考えております。

医療法人 惇慧会
外旭川病院
〒010-0802 秋田市外旭川字三後田 142
TEL 018-868-5511　FAX 018-868-5577
https://jkk-sotohp.or.jp/sotohp/

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第 LL54 号

- 病床数 241床（療養病棟 207床、緩和ケア病棟 34床）
- 診療科目 /内科、皮膚科、リハビリテーション科

